

# 迎春 新年のご挨拶を申しあげます

日中友好協会  
岡山支部

題字 萩原田 親

No. 497

2007/1/5

日中友好協会  
岡山支部

〒700-8255  
岡山府武3-8-30-514  
TEL:086-272-8010  
郵便振替口座  
01250-0-4835  
http://rizhong.or.jp/  
index.html

日中友好新聞

発行所  
日本中国友好協会  
〒101-8305 東京都千代田区日暮  
西1-1-1 東大寺会館5F

日中友好協会岡山支部ホームページ  
http://rizhong.web.infoseek.co.jp  
新・メールアドレス  
rizhong86@hotmail.co.jp



## 日中友好協会・岡山支部

支部長 宇野武夫

新年あけましておめでとうございます。

こんな挨拶をする、何をノーテンキなことを云つてか、と叱られそうなのが、私だけでしょうか。

新自由主義とか、構造改革という言葉を看板に、剥きたしの資本主義が人民の暮らしを剥ぎ取って、進軍しているような気がするのです。大企業・資本家階級の利益のためには、なりふり構わず法も秩序も19世紀初頭に戻すつもりでしょうか。

庶民には、この3年間で3.5兆円の増税、新年早々の増税は1.7兆円と云われます。その一方で、大企業や大資産家には、更なる減税を謀っています。

昨年末、教育基本法改悪案が成立しました。戦前の軍国主義教育への痛烈な反省の下につくられた基本法を救う力で葬る議員たちを、私は断じて許すことができない。

いっせいで地方選と参院選では、少なくとも自民・公明の議席を減らすよう頑張らねば、と思っています。

共謀罪法案や改憲手続き法案は継続審議となつています。私たちは、憲法を守るために、急いで、しかもじっくりと仲間をふやしていかなければなりません。

日常活動の根底に「九条の会」の活動を据えて今年も頑張ります。

## 日中友好協会・倉敷支部

支部長 大森久雄

頌春



倉敷支部ができ二年たった。月例事務局会議、ニュース発行、中国北東西安見学、内山完造史蹟巡見、中国残留孤児問題学習交流会、中国侵略跡訪問談など着実にとりくんだ。

とりわけ、倉敷在住帰国者の日本語教室開設は大きい。講師はベテランぞろいだ。

宮地事務局長のためらわぬ、さりげないやり方が心強い。栗本理事長の采配、大本・平井理事のとりしきりと実行力はたのもし。

うたってはきました。地道にとりくみ、すそ野を広げたい。みんな、この年もよろしく。二〇〇七年元旦

## 内閣総理大臣 安倍 晋三 殿

### 中国「残留孤児」国家賠償訴訟

#### 神戸地裁判決に対する控訴に強く抗議します

中国「残留孤児」国家賠償訴訟において、国の「早期帰国実現義務」と「自立支援義務」の双方の義務違反を認め、原告65人中61人に対する損害賠償請求を認めた12月1日の神戸地方裁判所の判決に対して、日本政府が控訴したこと、強い憤りをもって抗議します。

中国「残留孤児」国家賠償訴訟において、国の「早期帰国実現義務」と「自立支援義務」の双方の義務違反を認め、原告65人中61人に対する損害賠償請求を認めた12月1日の神戸地方裁判所の判決に対して、日本政府が控訴したこと、強い憤りをもって抗議します。

二〇〇六年十二月十二日

日中友好協会岡山支部

## いまが夜明け前

### 岡山原告団結成3周年のつどい

日時 1月5日  
1月2日  
場所 県営住宅長岡 集会所

中国「残留」孤児を支える会 副会長 難波幸矢

はじめに高杉団長が「12月1日の神戸判決は全国で2番目の判決になります。積極的に参加して欲しい。」とあいさつされました。

続いて香川県原告団代表の山口さんは「寝食を惜しんで弁護士さんたちが支援して下さり感謝」と前置きして、必ず勝つと信じています。大阪は敗訴しましたが勇気を出して最後まで闘いましょう。12月1日は必ず勝つ。……幼い時から祖国を離れ生きてきました。ここに集まる人達は兄弟姉妹です。団結していきま

ははじめに高杉団長が「12月1日の神戸判決は全国で2番目の判決になります。積極的に参加して欲しい。」とあいさつされました。続いて香川県原告団代表の山口さんは「寝食を惜しんで弁護士さんたちが支援して下さり感謝」と前置きして、必ず勝つと信じています。大阪は敗訴しましたが勇気を出して最後まで闘いましょう。12月1日は必ず勝つ。……幼い時から祖国を離れ生きてきました。ここに集まる人達は兄弟姉妹です。団結していきま



岡山原告団結成3周年 日本語教室開講2周年 記念の集

たことは、問題解決への「残留孤児」の願いと期待を踏みにじる行為と言わざるを得ません。日本政府が、神戸地裁判決を真摯に受けとめ、「残留孤児」らとの継続的な協議のもとに、中国「残留孤児」問題の全面解決に向けて、具体的な政策をつくることを強く求めます。

二〇〇六年十二月十二日

日中友好協会岡山支部

弁護団報告は則武弁護士がされました。岡山訴訟の現状について、10名の原告本人尋問が終了し裁判も最終盤に突入、残り17人の陳述書、準備書面を作成中とのことでした。全国情勢については、神戸の12月1日の判決を勝ち取り何としても方向を変えたい、その日の夕刻5時半から3時45分まで報告集会、12月3日、4日と全国原告団連絡会、国会要請、国会請願デモと熱く語られました。また勝利のための3つの必要条件を①違法性を認めさせる司法判断、②国会議員の支援、③マスコミ世論の盛り上がりなどについて話されました。

続けて奥津弁護士が「元気そうでは

何よりです。高杉、山口、岩間氏らから過分な言葉を頂きました。皆さんの言葉を胸にしつかりと受け止めて頑張りたい。特に山口さんが寝る事もしないでと言ってくれましたが、確かに遅くまで準備書面や会議もしますが、終わったら安い居酒屋で酒を飲みませんか？と寝ています。日本では胸突き八丁(山の頂上間近の険しい坂)という言葉がありますが、重大な局面をむかえて苦しい中で何とかなると、神戸をむかえての一連の行動がまさにそういう時なんです。これをテコに東京に集まり国の政策を変える一大行動をしようとしているわけです。……歯を食いしばりギリギリ頑張りたいと思っています。私たち なにじんですか?というポスターもできました。皆さんが感じてきた言葉にしています。力を合わせて頑張りますよ。」とあいさつされました。

最後になりましたが、経過報告で大森さんの語られた言葉には重いものがありました。皆さんの支援で、遺棄された日本に提訴することができました。……特にこの1年活発になり、国会でも解決するためのグループができました。国民の支援も頂きました。まだ帰ってきた暖かさを味わっていません。国は60年間私たちを死人扱いし、帰ってきたら外国人扱いし、そして罪人が障害者のような扱いでした。この3年間、年を取りました。私たちの中には希望を持ちつつも亡くなった人もいます。

結果を見ないで逝ったことがどんなに悲しいことか。私たちは日本人です。しかし普通の日本人の扱いを受けていません。愛がないです。政府の支援で解決されたいです。

……今、夜明け前です!!

# 中国建徳市に桜千本を植える

## ボランティア活動 ⑥

杉元 邦太郎

### NI ネットワークの第二回目の訪建

(1999=平成12年10月)

1999年ネットワーク独自の第2回目の建徳市訪問を行った。このとき、筆者は所用のため参加できず、娘に代理同行を依頼した。

このときの主題は、前年の建徳市の出雲市訪日に刺激されて、農業に比重を置き、多くの特産的農産物を生産しているイチゴ、ミカン、ブドウ農家との農業交流を行ったようである。そして両者間の「今後の交流」の在り方が話し合われ、このときに佐々木団長と許保水建徳市長との間で、「桜植樹友誼林」を河畔公園に造ることの約束がなされた。

交流後には千頭湖を船で横断し、千島湖の西岸奥に位置する安徽省の



紹興市での川舟

の世界遺産・黄山に登山を行ったのち、空路上海経由で関空に帰国した。

ここで建徳市の概要を記しておくことにする。建徳市の行政的な位置づけは第10章で記したが、杭州市からは150kmの西南に位置して、面積は2321km<sup>2</sup>、人口は約50万であり、中国の中では大きい方ではない。

すでに述べたように県級市(1992年に県から市)で、その下に15鎮、12郷、518村(集落)をかかえている。これからわかるとおり、我々が建徳市に行つたとはいえず、その一部市街地を見ているにすぎない

のである。しかし市街地においても、「山紫水明」の名を汚さない街である。古跡や景観から、「国家級重点風景」に指定されている観光基地でもある。

考古学的には洪積世晩期(5万年前)の人類大歯が発見されているというところであるが、それらの証索は本来の目的ではないが、当時の地形などから推測するに、海と山の結節的な位置にあつて、古い歴史を刻んで来ていることは確かである。これは後述するが、流域圏との関係もあると思われ、浙江西北部の拠点として古い溪口集落(山地の産物と平地海産物の取引所)であつたと思われる。

このような立地関係から、建徳からは西漢・三国時代以来、世に知られた文人墨客が多数往来しており、筆者が2002年に市から贈られた書も、孟浩然が新安江を詠つたものであり、李白らも滞在し、辛亥革命の烈士も排出している。

ただその後、貨幣経済・流通経済の発達は、呉越や南宋などの政争なども影響して、臨安、明州、会稽などの海岸側の都市を発達させ、建徳はいつの間にか農村都市的な街になつてしまった。

現在建徳市は農業を主産業とし、市の概況報告では、米、小麦はもとより、各種豆類、薯類、棉類、蔬菜等が列記されており、また経済作物としては茶、蚕、柑橘、白蓮・等無数が挙げられている。また日本でも知られている五加皮酒は致中和五加皮として知られており、字の通り、多数の漢方樹皮などを使って造られていて、日本の「養命酒」の元祖と言つて良からうと思う。製造業も決して劣るものではなく、鉱物資源26種の他、化学、機械、軽紡績、繊維など多数を挙げている(以上、建徳市要覧、建徳市人民政府外事弁公室の紹介文書などによる)。

つづく

## 中国残留日本人孤児の

### 問いかけるもの

小林軍治

十一月十七日、岡山市西大寺公民館の「とぶき大学(高齢者が中心)で中国残留日本人孤児の問いかけるもの」と題して話しました。

約五十人が参加しました。参加者の中には、「孤児」の肉親捜がしを告げる朝日新聞を持参された方もいて、関心の高い人が多く真剣に聞いてくれました。

今回は、二つの点を強調しました。一つは、なぜ「孤児」には、満蒙開拓団関係者が多いのか。また、敗戦時「満州」における開拓団関係者の死亡率の高さ(表を参照)から、他の日本人に比べて戦争被

害が大きい点です。

満州在住日本人の十四%の開拓団関係者が死亡率において、四五%を占めていることおよび、数千とも一万人以上ともいわれる「孤児」たちの多数が開拓団の子供たちであるという事実は、敗戦後いかに悲惨な状況におかれたか(戦争被害が大きかったか)を物語っています。

一、国策で「満州」経営の推進のために入植したにもかかわらず、ソ連侵攻後、政府・関東軍に見捨てられ、ソ連軍の蛮行、現地中国人暴徒の略奪にあつたこと。二、集団自決などにみられる生命を



軽んじる軍国主義教育と戦陣訓(生きて虜囚の辱めを受けず)の教えを忠実に守つたこと。

二つ目は、安倍総理の祖父である岸信介氏が、戦前は、満州国の高官として「満州」経営にあたり、「孤児」を生み出した政策にかかわり、戦後は、一九五七年に総理となり、中国

追記  
一、この学習会でカレンダーが三部売れました。  
二、館長から礼状をいただいたので紹介します。

### 館長からの礼状

前略、先日は西大寺公民館「とぶき大学」での講演ありがとうございました。終戦時に中国に残され帰国されてからも厳しい人生を歩んでおられる方がこの岡山に多数おられることに驚きました。小林先生の自らの体験を元にしたお話に、受講された方々も深く感銘されていたようです。今後ともこうした歴史を後世に語りついでいけることを祈っています。

次回の新聞送付作業は  
1月11日(木)午後1時半、  
民主会館2階で行います。  
前回お手伝いくださった方です。

小林 和  
真田 内  
竹内 部  
竹内 三  
服部 垣

### 1945年8月15日(敗戦時)

満州在住日本人	約155万人	死亡者数	約176,000人
うち開拓団関係者	約22万人	死亡者数	約80,000人
開拓団の人口比率	22 / 155 ≒ 14%		
開拓団の死亡率	80,000 / 176,000 ≒ 45%		

※ 死者8万の内訳  
◎戦時自決1万1千人、病没(凍死、餓死)6万7千人